

放送日： 平成 20 年 1 月 13 日  
タイトル： 胃カメラについて  
担当者： 医師 田崎 和仁

こんにちは。公立甲賀病院、内科の田崎と申します。

今日は新しい胃カメラの話をしていきます。

あなたは、今までに胃カメラの検査を受けられたことがありますか？ もしかすると、あなたは以前とても苦しい思いをしたことがあって、「胃カメラはもう二度と受けたくない」と心に決めていませんか？

今まで胃カメラ検査は苦しいというイメージを持たれがちでしたが、最近そんなイメージを覆す新しい「楽なカメラ」が登場しました。それは、鼻から挿入する胃カメラで、「経鼻内視鏡検査」というものです。

このカメラが楽である理由としては 3 つあります。

まず第 1 に、カメラが細くなったことです。従来の半分ぐらいの 6mm 程度の細さになっており、これはだいたい鉛筆と同じぐらいの太さです。

2 つめは、最も辛い検査中におこるオエッという嘔吐反射がほとんどないことです。これは、カメラが舌の根元の舌根という部分にふれて起こるものなのですが、鼻から入った場合は舌根に触れないためです。

3 つめは、口からのカメラ検査ではしゃべることができませんでしたが、鼻からの検査の場合は普通にしゃべることが可能なので、比較的リラックスをして検査を受けることができます。自分の胃の画像を見ながら質問をすることも可能です。

もちろん検査を楽と感じるかどうかには個人差がありますが、他の施設で行われたアンケートによると、90%以上の患者さんが、次回も鼻からのカメラ検査を希望されています。

デメリットとしては、鼻の麻酔に 10 分程時間が余計にかかること、検査後に鼻血や鼻水が出る場合があること、鼻が狭い方は口からの挿入に変更が必要なおことがあります。しかし、他は基本的に口からの検査と大きな違いはありません。胃を観察するのにかかる時間や検査費用もほとんど変わりませんし、胃の細胞を採取する精密検査も可能です。

胃の病気には、早期胃癌など症状が出にくいものもありますので、胃の調子が気になる方もそうでない方も、検査を定期的に行うことが大切です。経鼻内視鏡検査は、まだどこの病院でも受けられるものではありません。しかし、甲賀病院では昨年からは経鼻内視鏡が導入されており、内科を受診すれば検査の予約をすることができます。胃カメラをまだ受けたことがない方や、口からの検査がとてもしんどかったという方は、一度どんなものか受けてみられてはいかがでしょうか？ 是非お待ちしております。